

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【公開番号】特開2015-163433(P2015-163433A)
【公開日】平成27年9月10日(2015.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2015-057
【出願番号】特願2014-39288(P2014-39288)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

それぞれが記録素子を含む 2 個の記録素子基板を備え、

前記 2 個の記録素子基板の各々は、記録素子に供給する電源電圧を受けるための高電位側の端子である第 1 端子と、前記電源電圧を受けるための低電位側の端子である第 2 端子と、を有し、

第 1 の記録素子基板の前記第 2 端子と、第 2 の記録素子基板の前記第 1 端子とは第 1 配線により互いに接続され、前記第 1 配線には、電源電圧が供給される第 2 配線の一端が接続される、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記 2 個の記録素子基板のそれぞれに対応する 2 個の電圧源をさらに含み、

前記 2 個の電圧源のそれぞれは、対応の記録素子基板に前記電源電圧を供給し、

前記 2 個の電圧源は、第 3 配線により直列に接続されており、前記第 3 配線は、前記第 2 配線
の他端が接続されると共に接地されている、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記第 1 の記録素子基板の前記第 2 端子と前記第 2 の記録素子基板の前記第 1 端子とを接続する第 1 ノードと、前記第 1 の記録素子基板に対応する第 1 の電圧源と前記第 2 の記録素子基板に対応する第 2 の電圧源とを接続する第 2 ノードと、の間に、前記第 1 ノードの電位の変動を抑制する調整回路をさらに含む

ことを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記調整回路は、前記第 1 の記録素子基板において駆動される記録素子の数量と、前記第 2 の記録素子基板において駆動される記録素子の数量との差に応じた電圧を、前記第 1 ノードに出力する、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記調整回路は、互いに直列に配された第 1 の電流源および第 2 の電流源を有しており、

前記第 1 の電流源は、前記第 1 の記録素子基板において駆動される記録素子の数量に応じた量の電流を供給し、

前記第 2 の電流源は、前記第 2 の記録素子基板において駆動される記録素子の数量に応じた量の電流を供給し、

前記調整回路は、前記第 1 の電流源の電流量と前記第 2 の電流源の電流量との差に応じた電圧を出力する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記調整回路は、互いに直列に配された第 1 の経路および第 2 の経路を有しており、

前記第 1 の経路および前記第 2 の経路の其々は、互いに並列に配された複数の抵抗素子と、スイッチ手段とを含み、

前記第 1 の経路では、前記スイッチ手段は、前記第 1 の記録素子基板において駆動される記録素子の数量に応じた数量の抵抗素子を駆動し、

前記第 2 の経路では、前記スイッチ手段は、前記第 2 の記録素子基板において駆動される記録素子の数量に応じた数量の抵抗素子を駆動し、

前記調整回路は、前記第 1 の経路において駆動された抵抗素子の数量と前記第 2 の経路において駆動された抵抗素子の数量との差に応じた電圧を出力する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記記録素子基板を含む記録ヘッドはフルライン型である、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 8】

前記 2 個の記録素子基板を含む複数の記録素子基板を備え、前記複数の記録素子基板は千鳥状に配列されている、

ことを特徴とする請求項 7 に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記 2 個の記録素子基板の各々に記録剤を供給するための記録剤供給部をさらに備える

、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 10】

それぞれが記録素子を含む 2 個の記録素子基板を備え、

前記 2 個の記録素子基板の各々は、記録素子に供給する電源電圧を受けるための高電位側の端子である第 1 端子と、前記電源電圧を受けるための低電位側の端子である第 2 端子と、を有し、

第 1 の記録素子基板の前記第 2 端子と、第 2 の記録素子基板の前記第 1 端子とは第 1 配線により互いに接続され、前記第 1 配線には、電源電圧が供給される第 2 配線の一端が接続される

ことを特徴とする記録ヘッド。

【請求項 11】

前記 2 個の記録素子基板のそれぞれに対応する 2 個の電圧源をさらに含み、

前記 2 個の電圧源のそれぞれは、対応の記録素子基板に前記電源電圧を供給し、

前記 2 個の電圧源は、第 3 配線により直列に接続されており、前記第 3 配線は、前記第 2 配線他端が接続されると共に接地されている、

ことを特徴とする請求項 10 に記載の記録ヘッド。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一つの側面は記録装置にかかり、前記記録装置は、それぞれが記録素子を含む2個の記録素子基板を備え、前記2個の記録素子基板の各々は、記録素子に供給する電源電圧を受けるための高電位側の端子である第1端子と、前記電源電圧を受けるための低電位側の端子である第2端子と、を有し、第1の記録素子基板の前記第2端子と、第2の記録素子基板の前記第1端子とは第1配線により互いに接続され、前記第1配線には、電源電圧が供給される第2配線の一端が接続されることを特徴とする。